志賀小学校 特別支援トイレ

TOTO

外観

2012年度から3年計画で校舎のトイレ改修を実施。
校舎の耐震改修も完了している。

入口

引戸の場合、扉が重いと開けられない児童もいるため自動ドアを採用。
操作ボタンは低学年の児童でも届く高さに設置している。

多目的ベッド

着替え用にベッドを完備。エアコンも設置している。

椅子

シャワールームの横には着替え用の椅子を設置。車いす使用者に配慮して、
幅が広めの鏡（W600×H900）を低い位置に取り付けている。

全体

視覚障がい者が器具を識別しやすいように、大便器や洗面器まわりの器具と、壁の色のコントラストを図っている。
また、万一に備えて職員室と保健室につながる呼出ボタンを設置している。

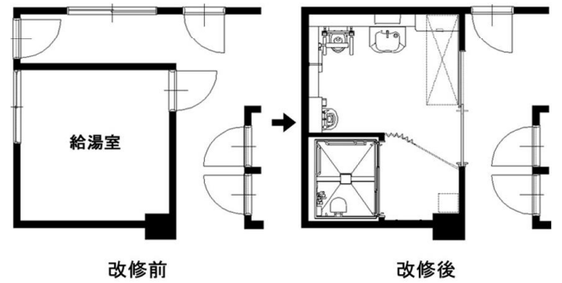
大便器

低学年の児童に配慮して幼児用便座を設置し、大便器に腰掛けたときに足が宙に浮かないよう踏み台も用意している。
手すりの取付位置は、理学療法士のアドバイスをもとに決定している。

シャワールーム

さまざまな状況に対応するために、特別支援トイレの中にシャワールームも完備。車いす使用者に配慮し、出入口の段差をなくしている。

図面



洗面器

車いす使用者がアプローチしやすいように、車いす対応の洗面カウンターを設置している。

オストメイト対応トイレパック

オストメイトに配慮して、オストメイト対応トイレパックを採用。

建築概要

名　　称	大津市立志賀小学校 特別支援トイレ
所 在 地	滋賀県大津市南志賀一丁目
施　　主	大津市　教育委員会 教育総務課
設　　計	株式会社建築事務所エヌピィオー
	大津市　建設部　建築課
施　　工	＜建築＞有限会社西條建設エクステリア
	＜機械設備＞有限会社オフィスジュン
竣工年月	（改修）2013年3月

水まわりの特長

＜改修の経緯＞

築50年以上経過した志賀小学校は、配管を含めた抜本的な大規模改修が必要な状態となっていた。また、志賀小学校は身体に障がいのある児童を積極的に受け入れており、以前から多機能トイレの充実を望む声が上がっていた。そこで、2012年度から3年計画でトイレ改修に着手。2013年夏には一般トイレの改修工事が予定されており、工事中は一般トイレに設置されている簡易多機能トイレが使用できないため、先行して本格的な多機能トイレの“特別支援トイレ”を新設することになった。

＜特別支援トイレの特長＞

レイアウトや器具の選定、取付位置など、理学療法士のアドバイスを参考にプランニングを行った。洗面器には車いすでアプローチしやすい車いす対応カウンターを採用し、オストメイト対応トイレパックも完備。さらに、視覚障がい者が器具を識別しやすいように、大便器や洗面器まわりの器具と壁の色のコントラストを図るなど、さまざまな身体状況の児童が使いやすいトイレ空間を実現している。

2013.05 作成　無断複製・転載禁止　（C） TOTO. LTD. 2013 All Rights Reserved　29182